



樹蔭静けさ

北海道帯広三条高等学校
〒080-2473
北海道帯広市西23条南2丁目12番地
TEL : 0155 (37) 5501
発行日 令和6年9月30日

中学生に本校の魅力を三条生自ら発信 ～ 学校説明会

中学生向け学校説明会が9月12日に開催されました。本校では3年次選択科目『自己表現』の生徒たちを中心に、生徒たち自ら本校の魅力を発信しています。今年も受付、誘導、説明会の司会・運営、パワーポイント資料の作成と説明、校舎案内は全て生徒たちが行いました。教員の出番は開会式の教頭挨拶のみ（校長は出張でした）。学校説明は生徒自身の感想をまじえたもので、まさしく“生の声”でした。

そして、今年は学校パンフレットとポスターも3年次探究『アート・表現』の制作物として完成。参加した中学3年生572名と保護者309名に配布されました。デザイン・編集を手掛けたのは本田裕輝さん、俵口桃花さん、町田希さん、川角晃平さんの4人。ポスターは川角さんのデザインです。これは2年次の進路類型別探究から取り組んでいたもので、昨年はクナワブリッシングの湯川大輔さんを招いて人の目をひくデザインをレクチャーしていただいたりもしました。その結果、生徒の日々の様子を伝える写真を使ったり、生徒や先生方のインタビューを掲載するなど三条の生の様子を伝える工夫を凝らしたものに仕上がりました。今後、HPにアップする予定ですのでぜひご覧ください。

説明会終了後には、自由参加の部活動体験が行われました。短い時間でしたが、三条高校の部活動の雰囲気を実感することができたものと思います。

ここでアンケートから中学生の感想をいくつか紹介します。

- ・最初の学校説明では分かりやすくユーモアのあるプレゼンテーションと動画で楽しみながら帯広三条高校のことを知れて最高でした。授業、校舎見学では、動画では伝わらない実際の雰囲気を覚えることが出来て良かったです。
- ・校舎見学をしてくださった方がとても説明がわかりやすく、明るい雰囲気でとても楽しい雰囲気が伝わりました。
- ・三条のパンフレットやプレゼンテーションなど生徒主体で行っていてすごいなと思いました。高校生活はめっちゃ楽しいということが伝わる内容で、高校で生活することにワクワクできました。

この説明会をきっかけに三条高校を目指してくれる生徒が増えることを期待しています。説明会にあたった3年生の皆さん、ありがとうございました。



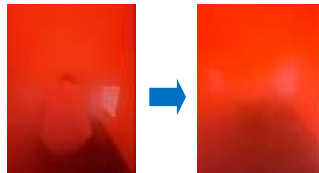
【パンフレット】

【ポスター】

火災で煙が充満したら…避難訓練でスモーク体験

秋の避難訓練は火災の想定です。万が一に備えて少しでも役に立つ訓練となるよう、帯広消防署のご協力を得て煙が充満したらどうなるかを体験する試みを実施しました。本当は全員体験してもらいたかったのですが、時間や装備の関係から1クラス10名の体験となりました。避難訓練の講評をいただいた後、校舎に戻る際に特設テントを通るのですが、最後に校長も体験させていただきました。

テントに入ると既に煙が充満しています。かろうじて足下が見えるくらいです。姿勢を低くして歩いて行きますが、視界が思いの外悪いです。前の人について行くのですが、この写真を撮ったほんの一瞬の間に、前の人姿が見えなくなりました。（右の写真）通路や出入り口付近に物が置かれていると躓く原因にもなります。日頃から避難経路の確認はもちろんですが、障害となりそうな物は置かないようにすることが重要です。ぜひ合わせて確認してみてください。



節電に努めましょう

秋の日はつるべ落とし。日一日と日が短くなっていきます。そんな秋を迎える10月から本校では節電運動を展開しています。一昨年は「目指せ！マイナス昨年度比10%！」を展開し、大きな成果をあげました。昨年も呼びかけを行いました。今年も一昨年並の使用量を目指し、日頃の細かなスイッチOFFを徹底して節電していきましょう！
昼間の生徒玄関や廊下・階段は電気を消しましょう。ご理解とご協力をお願いします。



第39回 1年5組担任 倉本峻志 教諭

今度はチームでインターハイ出場を目指す！

◆陸上部は2年連続してインターハイ出場

三条高校に赴任して陸上部を任されました。2年連続のインターハイ出場、といっても生徒が素晴らしいのであって私はただ引率しているだけというのが本当のところ。生徒のお陰で大変貴重な経験をさせていただいています。

昨年は北海道開催で、いつもの競技場ということもあり出場した2名の生徒たちもリラックスしていましたが、今年は生徒一人でも福岡開催。会場地入りが十勝の他校より早かったため、公式練習は周りに知っている人が全くいない状況でした。私の目から見てもひとりぼっちの姿が寂しそう、チームでここに来なくてはいけないと改めて強く思った次第です。

今回インターハイに出場した下野君をはじめ多くの選手たちが冬期間の地道な練習を通して大きく成長しています。日頃から自分たちで練習を管理していく姿勢が身につけている成果だと思います。この冬のさらなる成長に期待しています。

◆英語は使うことが大事

私は小学校1年から3年まで、親の仕事の関係で香港に住んでいました。日本人学校に通っていたので、それほど日本の学校と変わらなかったのですが、英語の授業がありました。ネイティブの先生から教わった英語の授業がとても楽しかったのを記憶しています。一応、帰国子女ですから英語はペラペラ、といきたいところなのですが、そんなことにはならなかったです（笑）。むしろ中学校では苦手な方でした。

かつての学校教育では、「英語の使い方を教える」ことからスタートしていましたが、最近は「まず使わせる」のがよいとされています。今、思い返すと香港での英語はとにかく使ってみる授業でした。英語が通じたという経験が楽しさにつながったのでしょう。私の教室もそんな場にしてい

きたいと思っています。日本の生活環境では英語を使わざるを得ない環境を作り出すのは難しいですが、探究の時間や英語の授業で、多くのイングリッシュスピーカーと実際に話せる機会を多く作りたいと考えています。

ところで、香港での3年間で今でも思い出すのは、建ち並ぶビル、あふれんばかりの人混み、熱気、そして独特のにおい…香港に行く前は中富良野に住んでいた、人の多さにとにかくびっくりしました。

◆ラグビーの魅力

実は私は高校、大学とラグビーをしていました。本校には現在ラグビー部はありませんが、それでもラグビーをしたいと個人的に活動している生徒が3名います。その生徒たちのために本校ラグビー部OBの方々のご支援をいただき、合同チームでの高体連出場の道を作っていました。

ラグビーは多くの役割があるスポーツで、どんな人でもそれぞれの役割が与えられる、誰でもできるスポーツです。ラグビー経験者がよく言うのですが、「身体をぶつけあうからこそわかる楽しさ」があります。だからラグビーへの熱は続くのだそうです。今もOBの方々の三条高校ラグビー部復活への熱い思いや、ラグビーをしたいという高校生への励ましや支援を目にする度に私自身もラグビーをやっていて良かったな、と思う今日この頃です。この場をお借りして、三条高校ラグビー部OBの方々をはじめご支援をいただいている全ての方々にお礼申し上げます。ありがとうございます。



インタビュー

キラり

NHK全国音楽コンクール北海道ブロック・北海道合唱コンクール 2冠達成

合唱部 部長 3年4組 佐々木 万葉 さん

副部長 3年5組 馬場 水月 さん 2年6組 木田 まつり さん



このほど行われたNHK全国音楽コンクール北海道ブロック（以下、Nコン）と北海道合唱コンクールで優勝し、見事2冠を達成した合唱部の部長・佐々木さん、副部長の馬場さんと木田さんに喜びを伺いました。佐々木さんが「Nコンでの金賞（優勝）は7年ぶり、2冠もそれ以来7年ぶりのこと。その間の先輩方が果たせなかったことを自分たちができたということが信じられない気持ちでした」と喜びを語ると、馬場さんは「Nコンは、一昨年コロナ感染により出場を辞退した大会です。自分たちが何よりも悔しい気持ちを抱いていたので、優勝はひときわ嬉しかったです」としみじみ話してくれました。2年の木田さんは「3年生の先輩たちと一日でも長く歌うことができるよう頑張ったかいがありました」と微笑みます。

三人とも合唱は高校に入學してから本格的に始めたのだそうですが、佐々木さんは「対面式の時の合唱に感動したのがきっかけです。あの時はコロナ禍だったので4人だけで歌を披露してくれたのですが、それだけの人数なのに素晴らしい声量とハーモニーでした。それで合唱部

に入ろうと決めました」と話してくれました。馬場さんと木田さんは新歓の合唱部の体験会がとても楽しくて入部を決めたそうです。その雰囲気は良さは今も変わらず、みんな仲が良いのだそうです。

昨年は全国合唱コンクールで見事2位に輝きましたが、昨年との違いを聞いてみると、佐々木さんがこう答えてくれました。「歌詞を大切に歌を届けようとするのは変わりません。女声ならではの繊細なハーモニーを大切にしていこうとしています。そこは三条合唱部がずっと大切にしているところです。変わったのは私たちの立場で、今まで成長させてもらっていた立場から、今度は後輩たちを引っ張っていかなければならない立場になったということです。時には壁として立ちちはだかなければならないこともあります。いつもうまくいけばありませんから、技術以上に部員みんなのメンタル的なケアを大切に、副部長たちと協力して、部員同士で話し合ったり声を掛ける場面を意識して作っていました」。馬場さんも顔しながら「私たちがいろんな経験をしてきて壁を乗り越えてきたからこそその結束だだと思います」と言うと、木田さんが「三条合唱部のモットー『心の和』です」とまとめてくれました。

Nコン全国大会は10月12日から東京のNHKホールにて、全日本合唱コンクールは10月26日から埼玉県さいたま市ソニックシティで開催されます。全国でも素晴らしいハーモニーを期待しています！

